



宮建第 187 号  
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 殿

宮若市長 有吉 哲 信



## 今後の道路政策や道路の整備・管理について

- 重点化を進める上で特に優先度の高い政策  
生活形態が都市集中型になり、全国的に少子高齢化が進むなかで地方部においては人口が減少し生活環境は著しく変化している。財政的に自立した自治体の実現を目指すために、宮若市においては新市の特性である福岡・北九州両政令都市の中間に位置する地理的条件と若宮 I C を活かし、トヨタ自動車九州(株)を軸とした関連企業の誘致、大型商業施設の誘致を効率よく行い、財政基盤の強化と雇用機会の拡大を図るなど、都市圏と地方を結ぶ災害に強い交通ネットワークの構築が必要不可欠と考える。
- ・本市が今後実施すべき道路施策の概要
  - (1) 市内を縦横に結ぶ幹線道路網の整備や、本市の基幹産業であるトヨタ自動車九州関連及び誘致企業とのアクセス道路の整備強化。
  - (2) 市道の維持・補修費の抑制と道路の延命化に努める。
  - (3) 市道の交通事故防止と交通の円滑化の推進。
  - (4) 市道路沿線の環境対策整備促進。
- 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと  
産業経済活動の活性化や高齢化社会を見据えた市域内の交通利便性、安全性を高めるため幹線道路及び日常生活の基盤となる生活道路の整備充実を図るため、第1次宮若市総合計画を現在立案中である。  
また、入札制度改革及び、工事費のコスト縮減に努めると共に、本市における財政状況を広く住民に周知し、行政・住民が共通した認識をもつための啓発活動に努め、過剰要望の抑制や市内各自治会を始めとする道路愛護等ボランティア活動の普及に努める等協働のまちづくりを推進する。
- その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見
  - (1) 供用中道路の維持・補修・修繕事業及び地域住民が求める生活道路の整備(緊急車両通行確保)の全てを市単独費で実施していることから、採択条件が緩和された国庫補助事業の導入をお願いしたい。
  - (2) 高齢者や通学児童など交通弱者の交通手段を確保するために、既に公的資金を導入して、バスなどの公共交通を維持している多くの自治

体がある。本市も同様であり、将来に亘る代替運行等の交通体系のあり方についての検討が必要であるが、新たな国庫補助事業の導入をお願いしたい。

- (3) トヨタ自動車九州㈱及び自動車関連立地企業の経済活動の活性化を図るため、本市北側の国道3号線からトヨタ自動車九州㈱を軸とする宮田工業団地を経て国道200号線に至る、新規国道建設構想の立案をお願いしたい。
- (4) 道路改良に伴う道路規格の歩道については、歩道設置の必要性・歩道幅員等において地域のニーズに応じた事業化及び補助事業採択要望をお願いしたい。
- (5) 道路は国・県・市町村道で骨格形成されており、市町村が国・県道と同等の道路規格で整備する場合には国・県で行う代行事業の導入をお願いしたい。
- (6) トヨタ自動車九州㈱を中心とする工業団地周辺の通過交通量が急増し地域住民に交通渋滞等の多大な迷惑をかけている。この交通渋滞を解消するため、団地周辺に直接九州自動車道へ乗り入れることができるスマートICを設置する等、高速道路を活用した多様な事業の新設導入をお願いしたい。